<u>平成29年度 第2回</u> 精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム構築 担当係長等会議

千葉市

精神障害者の地域移行推進に関する取り組みについて

千葉市では・・・・

- ・平成27年度より措置入院者の退院に向けた支援の調整を実施している。
- 平成28年度、長期入院精神障害者地域移行総合的推進体制検証事業を実施。
- ・平成29年度からは「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進 事業」を実施。

千葉市の基礎情報

千葉市

- ・千葉県のほぼ中央部にあたり、6区からなります。
- 気候は温暖で、豊かな緑と水辺など自然環境に恵まれています。



取組内容

【精神障害者の地域移行の取り組み】

- 措置入院者の退院に向けた支援の調整を実施している。
- ・平成28年度に長期入院者地域移行総合的推進体制 検証事業を実施。
- ・平成29年度より精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業・構築支援事業を実施。

基本情報

圏域数	1 力所
人口 (※)	975, 535人
精神科病院の数	9病院
精神科病床数	1,444床
入院精神障害者数	入院患者数:1,〇18人
	1年以上:556人
	うち5年以上:303人
退院率	入院後3か月時点:63,4%
	入院後1年時点:92,1%
相談支援事業所数	一般相談事業所数:14カ所
	特定相談事業所数:14力所
障害福祉サービスの利 用状況	地域移行支援サービス: 31人
	地域定着支援サービス: 60人
保健所	1力所
(自立支援)協議会	・人材育成について検討する部会 : なし・精神障害者地域移行を検討する部会 : なし
	全体会:年1回地域部会および運営事務局会議:各年6回
精神保健福祉審議会	年1回

平成29年6月30日現在 (※印は平成30年1月1日現在)

1 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組の経緯

【平成26年度以前】

・障害者総合支援法の「地域相談支援」の中で地域移行、定着支援を実施。

【平成27年度】

- ・地域自立支援協議会、精神保健福祉審議会等の場において、検証事業について説明し、地域移行支援等について意見交換を行う。
- 措置入院後、保健所が医療機関と協力し関係機関に繋ぐ支援調整を実施。

【平成28年度】

長期入院精神障害者地域移行総合的推進体制検証事業の実施

- 長期入院精神障害者の地域移行、地域定着に向けた支援を実施。
- 病院及び事業所等スタッフに向けた研修の実施。
- 特神障害者に関する協議の場の設置に向けて、関係機関との協議や地域 移行推進連携会議委員への意向調査等を実施。

2 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組概要(全体)

精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築推進事業

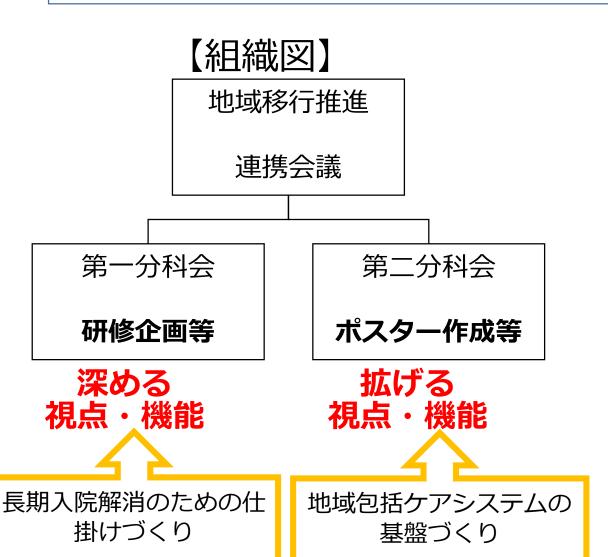
〇「精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築推進事業」の実施

当事業を通じて、精神障害者にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた支援を行い、その為のシステム作りや関係機関相互のネットワーク構築等を推進していく。

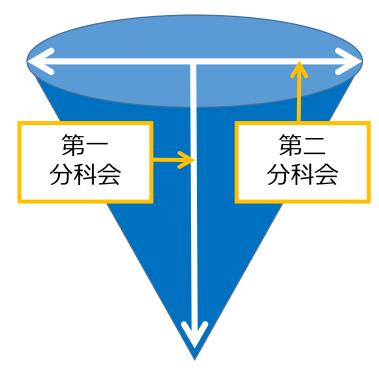
- ・ 「協議の場」としての、連携推進会議の開催
 - →精神科病院、地活、相談支援事業所、地域包括支援事業所、家族会、 法曹(法テラス)、行政にて構成。
- 地域移行関係職員に対する研修の実施
- 精神科病院入院者に対する退院支援プログラムの実施
- 支援ネットワーク構築&地域への発信
- 措置入院者等の退院後支援(精神保健福祉課)

千葉市の地域包括ケアシステム展開イメージ

千葉市における「精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム」構築のための 組織図及び役割・機能(イメージ)



【展開イメージ】



3 今年度の取り組み内容など

【第1分科会の活動】

- ☆<u>実施に向けたアンケートおよび聴き取り調査の実施(7~8月)</u> →多くの病院・事業所が何らかの形で参加したい旨の意思を表明
- ☆地域移行支援プログラムの実施計画策定・実施
 - →上記の調査結果をもとに、実施計画を策定・実施。 9月に「生活(宿泊)体験プログラム」、11月に「体験談プログラム」、12月に「事業所体験プログラム」を実施・評価
- ☆地域移行関係職員向け研修の実施計画策定・実施
 - →上記の調査結果をもとに、実施計画を策定・実施
 - →10月以降、各病院・事業所等にて順次実施 「まずは職員が、病院・事業所を見てみたい」→見学会を実施
 - →今年度の取り組みの集大成、情報発信→全体研修の実施(3月)

地域移行関係職員等向けの研修

1. 病院・事業所等における研修

- 〇開催回数:8回(さらに2回予定)
- 〇参加者数:計150名(現時点)
- 〇研修内容: 地域移行および精神障害者支援

研修先の二一ズに柔軟に対応!

2. 病院・事業所等の見学会

- 〇開催回数:4回(さらに3回予定)
- 〇参加者数:計35人(現時点)

(事業所見学会の様子)



(地域包括支援センターにおける合同研修会の様子)



3月11日(日)全体研修開催します!

精神障害者地域移行支援研修会

みんなで考える「暮らしやすい地域づくり」

精神障害者の方が地域の一員として、安心して自分らしい暮らしを送れるようにするにはどう したらよいのか、日々お悩みになりながら支援にあたっておられる方も多いかと思います。 そうした皆様が一堂に会し、いろいろな意見や情報を交換し合いながら交流を深めることで、 精神障害者支援のネットワークを拡げ、よりよい支援を行ってみようではありませんか。

[日時] 平成30年3月11日(日) 13:30~16:30

【会場】 千葉市総合保健医療センター 5階 大会議室

【内容】 【行政報告】

「千葉市における精神障害者の地域移行支援事業の現状」

報告者:千葉市精神保健福祉課 鈴木 将文

【基調講演】

「精神科医療のこれまでとこれから」

講師:特定医療法人学而会木村病院院院長 渡邊 博幸氏

【シンポジウム】

「千葉市における連携を意識した相互理解

立場の違いによる視点や役割・取り組みの違いを理解する」

【グループワーク】

「支援の共有化を図る一千葉市における地域包括システム

づくりへむけてー」

【定員】 50名(先着順)

【申込方法】 「参加申込書」を、郵送又は FAX で下記まで送付して下さい。

【申込締切】平成30年3月2日(金)



千葉市総合保健医療センター

【交通のご案内】

〒261-0001 千葉市美浜区幸町 1-3-9 (最寄駅) JR 京葉線・千葉都市モノレール

「千葉みなと駅」徒歩5分

【お問い合わせ・お申込み】

千葉市保健福祉局高齢障害部

精神保健福祉課 担当 石原•鈴木

TEL: 043-238-9980 FAX: 043-238-9991

地域移行支援プログラム・実績

- 1. 体験談プログラム
 - ☆地域移行した先輩の体験談を聞く

参加者数:21名 → 退院者数:10名

- 2. 日中活動(事業所体験)プログラム
 - ☆入院患者さんが、事業所にて作業を体験

参加者数:9名 → 退院者数:2名

- 3. 生活(宿泊)体験プログラム
 - ☆GH体験利用を通じて、退院→GHへ移行: 1名

3 今年度の取り組み内容など

【第2分科会の活動】

☆ 意見交換および検討(7~9月)

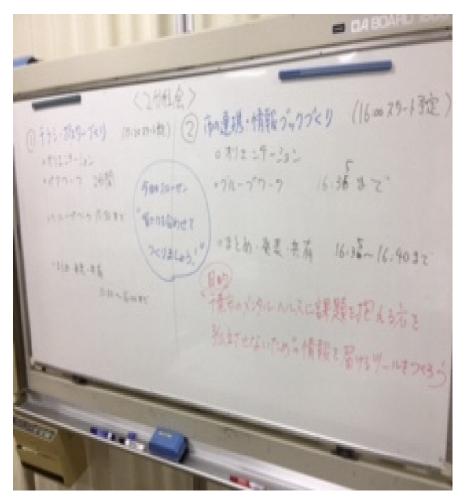
→当事者が孤立しないよう、情報を伝えたり、 つなげていくための広報物(チラシ・ポスター・ ハンドブック等)を作成しよう!

☆具体的な作業に着手(広報・啓発用チラシの作成)

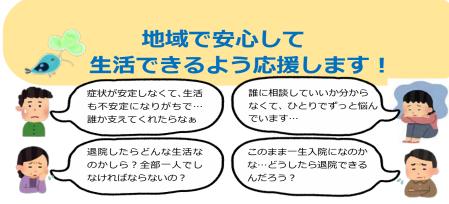
→対象者、キャッチフレーズ、具体的な掲載内容、 掲示&配布場所の検討など

チラシ作成の過程

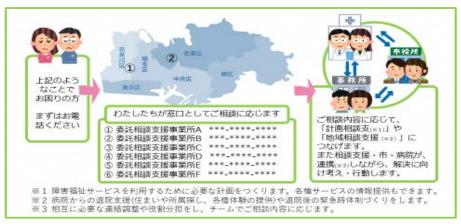




現在、最終調整中です!



- …こんなお悩みはないですか?
- 必ず秘密は守りますので、勇気を出して相談してみませんか?
- ご相談いただいたことで、長期の入院から退院できた方、家族以外の支援を受け地域生活をし始めた方がいます。住まいや在宅での支援、日中活動場所など選択肢を広げ、体験から取り組み始めた方もいます。
- 具体的に解決するには時間もかかることも多いかもしれませんが、少し気持ちが整理されることもあるでしょう。
- まずはお電話ください。お待ちしています。



(÷)

千葉市精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進連携会議

第1分科会の活動

- ○支援関係者相互の交流が活発になり、相互連携が功を奏したケースが具体的に出てきた (例:病院・相談支援事業所・グループホームの連携により実現した宿泊体験プログラム)
- ○支援関係者への啓発が進んできている

第2分科会の活動

- 〇広報物(チラシ)作成を通じて、議論のプロセスを通じた理解促進が進みつつある
- 〇病院・事業所および支援関係者間での、立場や考え方の違いが顕在化した

- ○地域移行支援の質をさらに深めていく
- ○支援者(次世代のリーダー的存在)の育成を図る
- ○病院・事業所および支援者間の認識の違いを縮める
- ○地域における理解促進をさらに図るなど